

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミⅠ					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	実務経験教員	アクティブラーニング	○	ICT活用	○
担当教員名	藤本 朋美								ICT活用	○	
授業概要	<p>この授業の目的は、「子ども教育専門ゼミⅡ」「卒業研究」に向けた準備段階として、自身の関心や問題意識を明確にし、研究方法を知ることで。</p> <p>これまで学んできた専門的知識やボランティア活動等で得た経験をもとに、特に幼児や児童のことばや文字、伝え合うこと等をテーマとして、自身の問題意識とそれに対する自身の立場を明確にします。</p> <p>自身の問題意識を手がかりに①課題設定、②文献の収集・整理と分析、③レジュメ作成、④発表、⑤メンバー間での討論を通して、課題探求力の向上を図ります。最終的には、自身の主張をレポートにまとめます。</p>										
関連する科目	事前に「子ども教育入門ゼミ」「子ども教育プレゼミ」を受講しておくこと。履修後は「子ども教育専門ゼミⅡ」「卒業研究」を受講すること。										
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。</p> <p>授業の前半では、各自が、課題に対する自身の考えを資料およびプレゼンテーションにより表現します。</p> <p>【知識・理解の獲得】</p> <p>後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深め、さらに自身の問題意識とその立場について検討します。</p> <p>【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】</p> <p>講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。</p>										
授業計画【第1回】	子ども教育専門ゼミⅠの目的 本ゼミが大学での学びにおいてどのような位置づけにあるのか、確認します。										
授業計画【第2回】	自身の興味・関心、問題意識を知る これまでに学んだ専門知識や経験をもとに、自身の関心や問題意識について考えます。										
授業計画【第3回】	文献紹介 自身の関心や問題意識に関する文献を収集し、紹介します。										
授業計画【第4回】	課題の設定 ①テーマの仮設定 自身の関心や問題意識をもとに、問いをたてます。										
授業計画【第5回】	文献の内容及び構造を読む ①概略的な知識を得る 自身の問いに関する図書や論文を収集し、概略的な知識を得るとともに、論文の構造を分析します。										
授業計画【第6回】	文献の内容及び構造を読む ②文献入手、構造の読み取り 自身の問いに関する図書や論文を収集し、概略的な知識を得るとともに、論文の構造を分析します。										
授業計画【第7回】	文献の内容及び構造を読む ③構造の可視化 自身の問いに関する図書や論文を収集し、概略的な知識を得るとともに、論文の構造を分析します。										
授業計画【第8回】	課題の設定 2：テーマの焦点化										
授業計画【第9回】	研究計画を立てる（レジュメ作成、発表及び討論） これまでの学びをもとに、問いを焦点化し、研究計画を立てます。										
授業計画【第10回】	先行研究を収集し、整理する ①体系的でまとまった情報収集 「広く調べること」と「論点を絞り込むこと」を繰り返し、自身の主張を明確にします。										

授業計画【第11回】	先行研究を収集し、整理する ②資料の読み込み 「広く調べること」と「論点を絞り込むこと」を繰り返し、自身の主張を明確にします。
授業計画【第12回】	調査・分析 ①構造の組み立て、アウトライン作成 調べた情報や自身の知識をもとに、レポートの構造を組み立て、執筆します。
授業計画【第13回】	調査・分析 ②本文執筆 調べた情報や自身の知識をもとに、レポートの構造を組み立て、執筆します。
授業計画【第14回】	最終報告 ①意見交換 レポートを資料として、プレゼンテーションにより自身の主張を表現します。 ディスカッションを通して、さらに論点を整理します。
授業計画【第15回】	最終報告 ②まとめ レポートを資料として、プレゼンテーションにより自身の主張を表現します。 ディスカッションを通して、さらに論点を整理します。
授業の到達目標	1. 文献の内容及び構造を読み取ることができる。 2. 先行研究の収集とその整理の方法について理解することができる。 3. レジュー作成、発表と討論の方法について理解することができる。 【知識・技能の育成】 4. 先行研究の収集と整理、調査と分析、レポート作成、発表及び討論を通し、自身の問題意識を深めることができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	課題に取り組むにあたって、自身の興味・関心や問題意識に関する情報や資料等を収集しまとめるようにしてください。
授業時間外学習【復習】	授業後には、意見交換や自身の学びを振り返り、論点を整理してください。
課題に対するフィードバック	毎回のレジューについては、授業時にコメントします。最終レポートについては、評価後、返却し解説します。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み（レジュー作成の内容及び発表・討論への参加状況等）50点 最終レポート 50点
テキスト	井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』慶応義塾大学出版会、2019年。（1,200円＋税）
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	